

川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムとは？



※外観イメージ

本ミュージアムは、長年、川崎市多摩区に住み、多くの名作を生み出したまんが家、藤子・F・不二雄氏の作品世界やメッセージを、まんがの原画などを通じて、幅広い世代に伝えていく文化施設として、川崎市と藤子プロが協力しながら整備を進めているものです。

原画や藤子・F・不二雄氏愛用の机などの展示を行う「展示室」をはじめ、映像展示室や親子で楽しめるキッズスペース、ライブラリーなどの「プラザ」、「屋上ひろば」などの整備を予定しています。

夢、希望、友情、勇気、大いなる好奇心、
そして人を愛する優しい気持ち・・・これらの思いを、
現在に、そして未来へ伝え続けていきます。

藤子・F・不二雄プロフィール



本名、藤本 弘(ふじもとひろし)。
1933年：12月1日、富山県高岡市に生まれる。
1951年：「毎日小学生新聞」にて、「天使の玉ちゃん」でデビュー。
1954年：本格的なまんが家を目指し上京。トキワ荘の住人となる。
「藤子不二雄」名義作品を発表。
1961年：川崎市生田に転居。「オバケのQ太郎」「パーマン」「ドラえもん」などの傑作を次々に生み出す。
1981年：川崎市文化賞を受賞。
1987年：「藤子・F・不二雄」として創作活動を開始、児童まんがの新時代を築く。

藤子・F・不二雄 (ふじこ・えふ・ふじお)

施設概要

- 名称：川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム
- 場所：川崎市多摩区長尾2丁目8番1号
- 敷地面積：約5,483㎡
- 延床面積：約3,600㎡
- 構造：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造、地上三階建て
- アクセス：小田急線「向ヶ丘遊園駅」より徒歩16分
JR南武線「宿河原駅」より徒歩15分
JR南武線・小田急線「登戸駅」より徒歩18分
(シャトルバスを運行予定)

※入場は、ゆっったりとご覧頂く為、「予約制」を予定しております。



川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム
FUJIKO F. FUJIO MUSEUM
2011年9月
開館予定

川崎市／協力：藤子プロ
問合せ先
川崎市総合企画局
藤子・F・不二雄ミュージアム整備準備室
〒210-8577
川崎市川崎区宮本町1番地
電話 044-200-3713
FAX 044-200-3540
Eメール 20fujiko@city.kawasaki.jp



©Fujiko-Pro

川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム
FUJIKO F. FUJIO MUSEUM

2011年9月
川崎市多摩区に開館します

展示室

5万点にのぼる原画の中から、様々なテーマごとに分けて展示します。「先生の部屋」も見所の一つです。



代表作の原画などを展示する「展示室1」



動物のオブジェのある「ホール」

作品をテーマごとに分けた「展示室2」



プラザ

「映像展示室」、「キッズスペース」、「ライブラリー」などプラザは親子でいろいろ楽しめます。



小さな子どもが楽しめる「キッズスペース」



親子でまんがを読める「ライブラリー」



「描くのが楽しみ、読んでくれる人も楽しむ、そんな漫画がずっとぼくの理想なんだ」

屋上ひろば

森につながる「屋上ひろば」では、緑と風の中でキャラクターとふれあえます。



様々なキャラクターに
出会う「屋上ひろば」

のび太とピー助がいる絶好の写真スポット



愛用の机を展示する「先生の部屋」

